

# HOLON

CND機関紙  
ホロン

Vol.137

発行日 2013年9月10日

02 CND Action!

**がんばれ! いそざきさん。**

～いそざき参議院議員にインタビュー～

04 HOLON特集

**第13期後半期スタート～中間大会開催～**

05 時事ネタPICK UP

**ワクチンの基礎知識**

06 おうちマネー見直し隊 参上!

**自分のライフスタイルに合った  
保険を選択せよ!!**

07 HOLONプラス

**「健康診断のススメ」**

08 私たちの新しい仲間が増えました!

**着ぼいす  
HOLONクイズ**



**WORK  
LIFE  
BALANCE**

ご自宅に持ち帰り  
みなさんで  
ご覧ください!



Challenge for  
New  
Development

# がんばれ! いそざきさん。 「仲間の思いをかたちにする」ために!

先の参議院議員選挙で、みごと当選されました“いそざき哲史”さん。  
今回はCNDの若栗委員長代行が、活動での苦勞や思い出、  
これからの抱負など、さまざまなことをうかがってきました。



がんばります!

## 活動を支えていただき、 ありがとうございます

**若栗**…自動車総連からの参議院議員候補として過去最高得票に加え、民主党比例区でトップ当選という、素晴らしい結果で初当選されました。まずは、CNDの組合員を代表し、心からお祝いを申し上げます。おめでとうございます。  
**磯崎**…本当に嬉しい思いで当選の瞬間を迎えさせていただいたというのが、率直なところ。無名からスタートし、最終的には、「磯崎のためにやってみよう」という声を全国各地でいただいたのは、活動の励みにもなりました。CNDのみならずには活動を支えていただいたことに対し、あらためて御礼申し上げます。

## 活動のエネルギーの源は、 全国の仲間の笑顔

**若栗**…国会議員バッジを受け取った瞬間は、どういう気持ちでしたか?  
**磯崎**…バッジを付けたときには、びりりと引き締まる感じが、国会議員として認められた重みというものを、あらためて感じました。  
**若栗**…たいへん長期間にわたる活動でしたが、全体を振り返ってみて、どういうことを感じますか?  
**磯崎**…活動を始めたのは、去年の1月ですから、もう1年半以上たちます。最初は、「長い活動になるな」と思っていました。日々いろいろな所に行き、たくさんの方に出会ったので、常に新しい活動という印象がありました。気付いてみれば、あつという間の1年半だったかなと思います。



初登院の様子

実はこのキャッチコピーにダイレクトにつながっています。これまでの組合活動を通して、職場のみんなのためにやってきた活動の必要性、重要性は自分の心のなかに深く刻み込まれていました。国会議員という立場になっても、この思いは変わってはいかないと思っています。その思いがこの

ね。拒絶反応というのが、やっぱりありました。妻も同じような反応でしたね。「何それ…」と。  
**若栗**…そうですね。「私に何を求めているの?そんなの、冗談じゃないわよ」と、やっぱり拒絶ですね。やはりそこから始まりましたね。  
**若栗**…でも、どこかで決断をされたのですね。  
**磯崎**…はい。意志を固めるのに2カ月近くの時間を要しました。最終的には、やると決めたとき、妻は「旦那がやると決めたことを、妻としてはもう変えようがないだろう」「妻としては、支えていくしかない」という気持ちのようでしたね。

## 「仲間の思い、かたちにしたい」 に込めた思い

**若栗**…これからの国会議員としての抱負をお伺いしたいと思います。最初に、キャッチコピーの「仲間の思い、かたちにしたい」を掲げて、ずっと活動を展開されてきましたが、国会議員になられた現在の心境をお聞かせいただけますか?  
**磯崎**…国会議員になろうと決意を固めた理由は、

キャッチコピーに込められています。これが変わると僕の政治家としての信念が変わると思っています。絶対に変わらないもの、という気持ちで今後もやっていきます。  
**若栗**…われわれは自動車産業に身をおく仲間です。今一番の政策のポイントは、自動車関係諸税の抜本的改革です。  
**磯崎**…これまでの活動を通して、みなさんに一番強く訴えてきた政策です。短期的に見ても、消費増税の件もありますので、今すぐにも決着をつけたいという思いです。一方で、日本の国内にきちんと仕事を残していく、事業を残していく、そういう政策もやっていかないとけない。また、自分の政策の二本柱のうち一つに社会保障制度というのを立てさせていただいています。実はこの分野にも大変多くのご意見をいただきました。また、自動車以外のさまざまな分野で働く仲間の思いがあるのも事実です。自動車関係諸税を最重要視しつつも、みなさんの声を聞いて、さまざまな政策に力を入れていきたいと思っています。

**若栗**…CNDには、フォークリフトを扱っているL&F、トヨタホームという住宅関係や、一般業種

の仲間も多くいます。ぜひ、みんなの思いをかたちにしたいです。他にも、育児休暇制度などの両立支援を利用して、育児をしながら働き続ける方が増えてきています。しかし、販社の土日営業となると、女性の営業スタッフとしてバリバリ働いていた方々が、土日に子どもを預ける託児所などがなく、営業から外れなければならないという問題が全国的にあります。  
**磯崎**…僕も、実家が自営業で和菓子屋を営んでおり、土日は稼ぎ時で、お店の休みは火曜日でした。子どもが生まれてから、土日に子どもを預ける生活をしてきました。今言われた話は、僕にとっては特別な話ではなく、「そりゃあそうですね」という感覚なんです。サービス業の方々は、土日が稼ぎ時なのが当たり前。その視点でも、僕は土日が特別な日ではないという感覚で、いろんな法整備や、インフラの整備をしていくことが大切じゃないかなと思っています。一方で、きちんとみなさんが休める日をつくる、という考えもあります。  
**若栗**…その通りですね。労働日と休日をしっかり区分けする。個人の休みは確保しなければなりません。  
**磯崎**…そうですね。現在、日本の人口が減っていくなかで、いつまでも男性中心で働くというのは、もう社会として成り立たないと思っています。やはり女性が社会進出をして働ける環境、仕組みをつくっていくことが必要だと思っています。

## 全国のみなさんの声を聞き、 皆さんに伝えていく活動を!

**若栗**…最後になりますが、CNDの組合員とご家族のみなさんに向けてメッセージをいただければと思います。  
**磯崎**…今回、北海道から沖縄まで、津々浦々行かせていただきました。のべ8万人を超える方にお

**若栗**…多くの方の前で話をする時に、緊張や、ストレスを感じることもあったのではないかと思うのですが、実はこんなことをして乗り越えてきたなど、何か逸話があればお聞かせいただけますか?  
**磯崎**…全国津々浦々行かせていただきました。そこで、現地の人たちと楽しいお話をさせていただいたり、その土地のおいしいものを食べたことなどで発散ができました。  
**若栗**…なるほど。磯崎さんのエネルギー源は、全国の仲間の笑顔であり、会話であり、そして地元のおいしいもの、ということですね。  
**磯崎**…あとは、たまに家に帰ったときに見る子どもの笑顔ですね。

## 2カ月の時間を要して、決断

**若栗**…ところで、国会議員候補というお話があつて、磯崎さんご本人の決断もそうですが、奥さんはどういう反応をされたのですか?  
**磯崎**…まず、僕自身の反応から言うと、最初は言われたことの意味が理解できない(笑)。言葉では理解しているのですが、飲み込むというか、ハートの部分でブロックして、理解しようとしないうです。



会いるための活動を支えてくれたのは、全国にいる販売会社の組合員のみなさんです。ですから、今回の活動を支えていただいたのは、CNDのみなさんだと言っても、言い過ぎではないと思っています。今回の活動を支えていただいたことに、あらためて感謝を申し上げたいと思います。みなさんに理解をしていただける政策を進めるためには、広く声を聞いていくことが必要です。これは、職種もそうですし、地域差もあるというのは今回すごく感じました。その地域の人でなければ分からないことがありますので、CNDのみなさんの声というのは、本当に貴重なつながりだと思っています。みなさんの声にしっかりと、お応えをしていくことが自分の責任です。

**若栗**…CNDの組合員全員、家族も含めて、応援していきたいと思っています。今後われわれが求める政策の実現に向けて精いっぱい活動をし、成果を報告していただけることを期待しております。今日はご多忙のところ、誠にありがとうございました。  
**磯崎**…こちらこそありがとうございました。



初本会議

# 第13期後半期スタート ~中間大会開催~



中央執行委員長  
鎌仲 一樹

8月27日(火)~28日(水)、岩手県民会館 大ホールにおいて、全国188の加盟組合から代議員・傍聴者が参集し、第13期中間大会を開催しました。

大会では、第13期前半期の活動経過報告・第13期後半期の運動方針(案)・13秋の取り組み方針(案)などが審議され、すべての議案が満場一致で可決されました。この方針を受け、加盟組合においても運動方針が策定され、具体的な取り組みがスタートします。

## END 第13期中間大会



### 13期後半期を 迎えるにあたり

「魅力ある販売業界づくり」のテーマを掲げた第11期以後、リーマンショックに端を発した経済危機、東日本大震災などの大きな難局が続き、活動の大きな柱の一つである「生活水準の向上」は、その実感をもてないまま現在にいたっています。

一方、もう一つの柱である「働き方変革」をみると、二度の大きな難局を乗り越えていくなか、私たちが着実に労働の質を向上させ、企業業績の向上に貢献してきたことは明らかであります。

こうした状況をふまえ、第13期は「総合労働条件の総点検と着実なステップアップ」「BTS活動の推進と支援強化」の二つの重点活動方針を掲げました。後半期についても継続して活動を続けてまいります。

### 総合労働条件の 着実なステップアップ

各種労働条件について、地域社会のなかで見劣りしない水準に改善していくことは「魅力ある販売業界づくり」のための基礎的要件であります。しかしながら、周辺労働条件の現状把握と課題解決については、これまであまり進展がない状況です。実際、個々の加盟組合で積極的に取り組んできたところと、取り組んでいないところと差が出ているのも確実です。全国で同じ業務をしている

仲間の労働条件に大きな格差があることは望ましいことではありません。各加盟組合が自組合の総合的な労働条件を総点検し、これまで意識していなかった項目や取り組んでこなかった項目を前半期に労働条件改善委員会で集中的に議論してきました。今後は、CND基準に照らし合わせて、加盟組合ごとに優先順位をつけて取り組んでいくことが重要です。

### 「BTS活動」の推進と 加盟組合支援の強化

第12期よりスタートしたBTS活動は、組合員一人ひとりと対話に重点を置き、従来行ってきた職場実態を把握する職場オルグをさらに進化させる取り組みです。ポイント「職場オルグの進化」と「年間を通じて」であります。第12期は組合活動の基本となる職場オルグを全組合で遂行したうえで進化させることが重要だと判断しました。今期は会社に対するカウンターパート機能という観点から、会社に「提言」できるように進化していきたいと思っております。また、提言活動の達成のためには、年間を通じた意見収集と執行部での議論が出来ていなければ難しいと思っております。

あらためて「魅力ある販売業界づくり」に向けた取り組みを進めるためにも、全加盟組合が労働組合としての役割を果たし、CND全体の組織力を向上させ、188組合が一丸となつて進んでいきたいと思います。



来賓挨拶 参議院議員 直嶋 正行 氏	来賓挨拶 衆議院議員 古本伸一郎 氏	来賓挨拶 参議院議員 磯崎 哲史 氏	第13期後半期運動方針説明 CND 石塚副委員長	議長団 岩手T労組 菅野議長	議長団 鳥根P労組 福島議長
司会 北東北支部 金持支部議長	質問者 兵庫C労組 金丸代議員	質問者 兵庫T労組 右田代議員	質問者 道都N労組 佐藤代議員	質問者 KTグループ労組 大石代議員	

←満場一致で可決

## 時事ネタ PICK UP

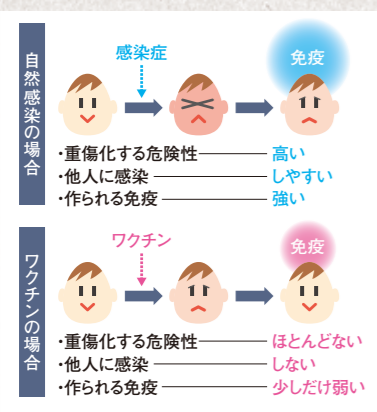
【第三回】



# ワクチンの 基礎知識

### 自然感染より安全に 免疫をいけることができます

子どもが感染症に自然にかかって治ると体内に感染症に対する免疫ができ、今後その病気にはかからないといわれています。ワクチンは、このような自然感染と同じしくみで、私たちの体内に免疫を作り出します。コントロールされた安全な状態で免疫を作り出すため、接種後に症状が出ず(症状がでたとしても軽い症状)、周りの人へうつすリスクがありません。



### もしワクチンを接種 しなかったら...

意外かもしれませんが、風疹、麻疹やおたふくかぜのようによく知られた病気でも、重い後遺症が残ったり、命を落としたりすることもあります。ワクチンを接種しないと誰にでも起こりうるということを知っておかなければなりません。

### ワクチンの種類

#### 一生ワクチン

生きたウイルスや細菌の病原性を症状がでないように極力抑えて、免疫が作れるギリギリまで弱めた製剤。自然感染と同じ流れで免疫ができるので、1回の接種でも十分な免疫を作ることができます。

#### 不活化ワクチン

ウイルスや細菌の病原性を完全になくして、免疫を作るのに必要な成分だけを製剤にしたものです。1回の接種

種では免疫が十分にできないため、決められた回数接種が必要で、

#### トキソイド

細菌の産生する毒素(トキシン)を取り出し、免疫を作る能力は持っているが毒性を無くしたものです。不活化ワクチンとして分類されることもあります。

感染症を予防するのに、安全で確実性の高い方法がワクチン接種ですが、残念ながら、すべての感染症に対してワクチンが作られていないのが現状です。

### 接種できるワクチンと 費用について

日本で接種できるワクチンは、予防接種法で義務付けられている「定期接種」とインフルエンザなどの希望者が受けられる「任意接種」があります。

現在行われている定期接種は、ジフテリア・百日せき・破傷風の三種混合(DPT)、ジフテリア・破傷風の二種混合(DT)、ポリオ、麻疹、風疹、日本脳炎、BCGです。

定期接種ではありませんが、接種が望ましい任意接種ワクチンは、B型肝炎、Hibワクチン、インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ、肺炎球菌、A型肝炎のワクチンです。

任意接種は自費接種なので費用がかかります。医療機関によって値段が異なるため、自分で確認する必要があります。自治体によっては補助を出しているところもあるので、保健所や保険センター、市町村の窓口で確認してみましょう。

ワクチン	生ワクチン	不活化ワクチン	トキソイド	治療薬	ワクチンがない
ウイルス	MR(麻疹風疹) 麻疹、風疹、おたふくかぜ、水痘、黄熱、ロタウイルス(1価・5価)、ポリオ(OPV)	日本脳炎、インフルエンザ、狂犬病 B型肝炎、A型肝炎、ヒトパピローマウイルス(2価・4価)、ポリオ(IPV)	ジフテリア、破傷風、DT	ジフテリア、ガスエス、ボツリヌス、まむし、はぶ	突発性発疹、ヘルパンギーナ、手足口病、伝染性紅斑(りんご病)、咽頭結膜炎(プール熱)、とびひ、マイコプラズマ肺炎、尿路感染症など
細菌	BCG	DPT、肺炎球菌(23価多糖体・7価結合型) インフルエンザ菌b型(Hib)	抗毒素		
ウイルス・細菌	DPT-IPV				
レプトスピラ	ワイル病状やみ				

感染症のなかには、深刻な合併症や後遺症をおこしたり、命を落としたりするものもあり、注意しなければなりません。昨今、ニュースなどで妊娠中の風疹の感染による胎児への影響についてニュースなどで取り上げられていますが、風疹だけでなく、感染症のなかには、赤ちゃんへの影響がある感染症も多く存在します。

感染症を防ぐための有効な手段である予防接種ですが、ワクチンによるアレルギー反応や、ごく稀にアナフィラキシーショックが起こる可能性もあるなど、副作用の危険性も指摘されています。

予防接種による副作用のリスクと予防接種を受けず、感染症にかかるとしまうリスクの両方を勘案し、家族や専門知識を持った医師に相談することが大事だと考えます。

# 「健康診断のススメ」



「人が生活をしていくために大切なものは何ですか?」と聞かれたら、みなさんは何と答えますか?もちろん人によってさまざまな価値観があるため、答えは多岐にわたると思いますが、多くの方が「健康」と答えると思います。心身が健康でなければ、会社で仕事をするこも、プライベートを充実させることもできません。

今回のHOLONプラスでは、そんな掛け替えのない健康を守るバロメーターである健康診断を紹介していきます。

## 健康診断はなんのため?

### ●一次予防

多くの病気は、生活習慣の結果によって起こることが明らかになってきました。不健康な生活習慣を改め、健康的な生活を送ることができれば、多くの病気を防ぐことができます。健康診断を受けることによって、自分の生活習慣が健康かどうかを見直す機会となります。

### ●二次予防

体に異変を感じないと、健康診断はついつい怠りがちになります。しかし、自覚症状のない病気が少なく、気づいたときには病状がかなり進行している可能性も…。ほとんどの病気は、発見が早ければ早いほど、治る確率が高くなります。初期の段階で体の異常を見つけるため、定期的な健康診断が重要となります。

つまり、  
健康診断の目的は  
自覚症状の無い  
初期の段階で異常を  
発見することです!

## 特定健康診査(メタボ健診)とは?

平成20年4月から、生活習慣病予防のため、40歳~74歳までの公的医療保険加入者全員に対する特定健康診査の実施が厚生労働省より推奨されるようになりました。一般には「メタボ健診」といわれています。

メタボ健診が必要なのは、食生活や運動不足などの生活習慣が、糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症に大きく関わっているから

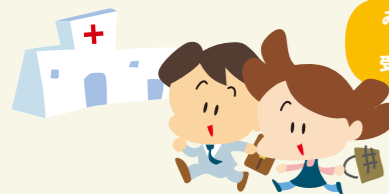
です。さまざまな生活習慣の影響は40歳代になって徐々に見られはじめ、実際、医療機関にかかる状況を見ると、40歳代から受診をはじめの方が急激に増えていることがわかります。

深刻な生活習慣病でも、自覚症状があまりないまま進行するため、気付くのが遅れたり、軽く考えたりしてしまう方もいると思います

が、いったん発症してしまうと、長い闘病生活や後遺症で介護が必要になったり、高額な医療費がかかったり、最悪の場合は命にかかわることもあります。

メタボリック症候群はいわば生活習慣病の“芽”のようなものです。できるだけ早期に見し、手を打つことがとても重要です。

生活習慣病には、「がん」「心臓病」「脳卒中」という命にかかわる重大な病気の他、糖尿病や痛風、骨粗しょう症など生活の質を下げる危険な病気があります。



みんなで  
健診を  
受けよう!

### ●生活習慣病のこわさ

1. 自覚症状があらわれにくく、気づいたときにはかなり進行していることが多い。
2. 複数の病気を併発することが多い。
3. 加齢を土台にした慢性病なので完全には治らず、生涯にわたってコントロールしていかなければならない。

### ●生活習慣病になる主な要因

下記の五つが生活習慣病を発症・進行させていく大きな要因です。つまり、その名の通り、生活習慣のよしあしが生活習慣病の発症と深くかかっているのです。

1. 悪い食習慣
2. 運動不足
3. ストレスと睡眠不足
4. 喫煙
5. 過度の飲酒

## 健康診査の心がまえ 7か条!

1. 毎年欠かさず健診を受ける!
2. なるべく、同じ健診機関で受ける!
3. 健診結果に必ず目とおし、保存する!
4. 結果はきちんと受けとめ、改善目標を立てる!
5. 気になることがあれば健診機関に相談する!
6. 二次検査(再検査・精密検査)を恐れない・面倒がらない!
7. 「異常なし」を過信せず、日ごろから体のチェックを行いましょう!

私たちは、小さい頃から「健康は大切」と教えられてきました。しかし、何をもちて「健康」といえるのでしょうか。改めて考えてみると、「健康」というのはすごく説明しにくいものであると感じます。

WHO(世界保健機関)が定めた健康の定義をみると「健康とは身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態であり、たんに病気あるいは虚弱でないことではない」としています。この定義から、「健康」には三つの側面があり、それらの全てを満たすことが大切だということが分かります。「身体」「精神」「社会」のどれもが等しく重要です。

三つの側面のうち、どれが自分や家族にとって不足しているかを考え、その部分を補うよう努力していくことが重要ではないでしょうか。

# おうちマネー見直し隊 参上!

今回から始めました「おうちマネー見直し隊」。子どもの将来や、自分たちの老後を考えて、必要となる資金を備えておくことが大切です。大切なお金の支出を見直し、安心して過ごせる準備をしましょう! 記念すべき第一回は、保険の見直しについてです。

家計を見直さざる!

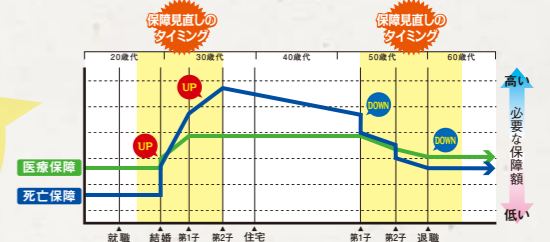


見直し版蔵

## 第一回 | 自分のライフスタイルに合った保険を選択せよ!!

見直しの心得 其の一  
**ムリ、ムダを失くす!**  
ライフステージに合わせた保険を考えよ!

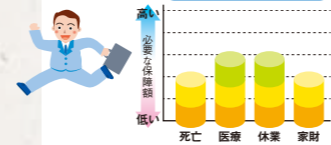
保障は一度加入したらそのままOK!ではなく、**見直しのタイミング**があります!



### シングル 社会人になったら...

今後起こるイベントに備えて貯蓄を中心としたライフプランを!  
独身期の保障の考え方は、万が一のけがや病気を考えて医療保障を中心とし、死亡保障については、必要最低限(非償費用相当額など)を備えましょう。また一人暮らしの方は火災保障(家財)も忘れずに!

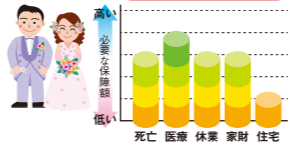
#### 必要な保障の目安



### カップル 結婚したら...

結婚後、いきなり高額な保障は必要はありません。  
夫婦二人の保障づくりの考え方は今後想定されるイベント(子ども誕生や住宅の購入など)に備え貯蓄中心に考えましょう。保障は医療保障を中心に、死亡保障は自身の非償費用相当額や配偶者の当面の生活費程度を備えましょう。

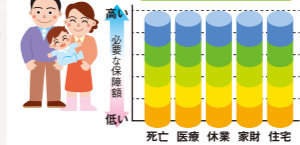
#### 必要な保障の目安



### ファミリー 子どもが生まれたら...

保障設計を考えるうえで必要保障が最も高くなる時期です。  
保障づくりのポイントは、死亡保障の場合、必要保障額から公的年金である遺族年金や企業の福利厚生制度(死亡退職金など)を加味し、不足分を保険(共済)や貯蓄で備えましょう。医療保障に加入していない方は今後必要となるため一定程度の保障額を備えましょう。

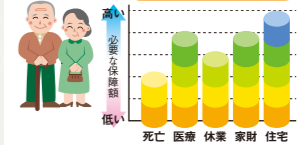
#### 必要な保障の目安



### セカンドライフ 子どもが独立したら...

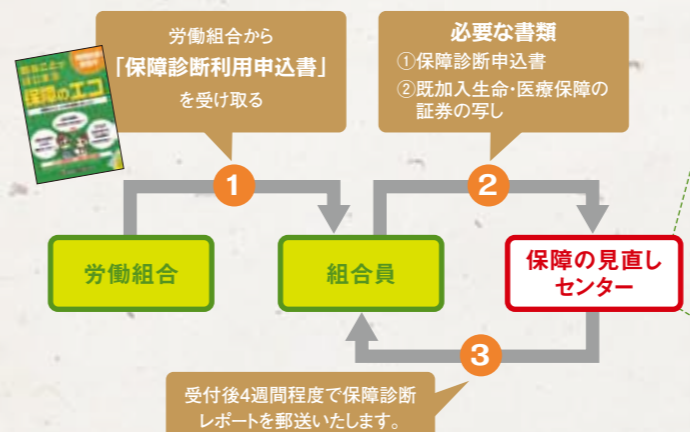
ご自身や配偶者のセカンドライフに向けた保障づくりが必要となります。  
子どもが独立する時期は、遺族への必要保障額も減少します。保障づくりのポイントは、死亡保障よりも医療保障(入院・手術など)や貯蓄などを中心にライフプランを考えましょう。見直しによっては保障額を減額して掛金負担を抑えましょう。

#### 必要な保障の目安



## 見直しの心得 其の二 ゆうゆうの保障診断を活用せよ!

ゆうゆうの保障診断はとてもカンタン!



### 保障診断でこんなことが分かります!

- 必要保障額** 万が一のことがあったときの必要保障額がわかります。必要保障額とは、毎月の生活費のほか、お子さまの教育費など生活に必要なまとまった資金を手当てするための金額のことです。
- 現在の保障内容** 今、あなたが加入している保障の内容をお知らせします。
- 最適な保障プラン** 最適な保障プランを提案します。

ふじかわ ふとし  
**藤川 太**  
ファイナンシャルプランナー(CEP認定者)  
宅地建物取引主任者  
家計の見直し相談センター(<http://370415.com>)  
生活デザイン株式会社  
山口県出身。慶応義塾大学大学院理工学研究科を修了後、自動車会社で燃料電池自動車の研究開発に従事していた。「家計の見直し相談センター」で個人向け家計相談サービスを展開している。2001年の設立以来15,000世帯を超える相談を受けてきた。「分かりやすい、納得できる、利用しやすい」サービスを目指して活動中。

私が見直しをします!



「ゆうゆう」に関するお問い合わせ

「ゆうゆう」に関する各種手続きに関する相談などは  
**所属の労働組合窓口まで**

